

第14回 北海道 小・中・高生 短歌コンテスト二次審査通過作品 (通過251首中、入選以上を除く167首)

小学1～3年生の部

1	とうろうのゆれる火を見てうかぶ顔咲きみだれるよ空の花ばな	江別市立中央小学校	3年	岡本 実孝
2	夏が来たやっぱりプール水しぶきばしゃばしゃあびてボードの上で	札幌市立丘珠小学校	3年	内山 怜
3	まだかなあスキーにスケートたのしみだゆきよふれふれはやくふれふれ	札幌市立北九条小学校	2年	吉川 凜
4	あこがれの先生みたいにひけるかなひけるよぜったいじぶんしんじろ	札幌市立北野台小学校	2年	魚住 心愛
5	たいいくのドッジボールでかつやくだどどんあてていいあせかいた	札幌市立栄北小学校	1年	木村 桜空
6	かわのみずプールのみずとくらべたらつめたかったよあしでかんじた	札幌市立札幌苗小学校	1年	坂上 結泉
7	戦国のでかいシンボル大阪城時代のりこえ歴史伝える	札幌市立札幌苗緑小学校	3年	村上 秀成
8	きれいだなゆらゆらゆれるたんざくよ願いをこめる七夕かざり	札幌市立澄川南小学校	3年	伊藤 聡美
9	ねふたの日どんどんどんわくわくだ赤白みどり花火のように	札幌市立中央小学校	2年	井上 葵
10	鳴りひびくバンツという音勝ちたいなみんな強そう・・・百人一首	札幌市立東光小学校	3年	高橋 佑奈
11	なつやすみこくごのしゅくだいのしいなすきなひらがなさっとかけたよ	札幌市立日新小学校	1年	木島みずほ
12	キャンプの日すぐになくなるもったいないかわいいマシュマロ食べたくないな	札幌市立発寒南小学校	3年	道下 結理
13	盆おどり何周するのへとへとだ回転ずしのおさらみたいだ	札幌市立福移小学校	3年	新倉 咲音
14	えんそくでたくさんのいろみつけたよみどりのしばふカラフルごはん	札幌市立伏見小学校	2年	宮川 晴香
15	ながれぼし光って一つみつけたよみんなのねがいかなうといいね	札幌市立伏見小学校	3年	伊藤 晏理
16	うれしいなれんしゅういっぱいつみかさね上手になったよバドミントン	札幌市立北光小学校	3年	赤坂 璃子
17	大花火音なりひびくか川じきはく力あってたいこのようだ	札幌市立真駒内桜山小学校	2年	本間 正輝
18	シャキシャキとりんごを食べるレッサーパンダこっちへおいでだっこしたいな	札幌市立みどり小学校	1年	河本 結菜
19	あついなついえのまえでみずあそびみずでっぽうでふくがびっしょり	札幌市立宮の森小学校	1年	鈴木 千太

小学4～6年生の部

20	部活とか今日もいろいろあったけど夜の星空見てリラックス	旭川市立旭川小学校	6年	三品 咲空
21	さくらんぼハウスの下でまっかっか恋話でもしてるのかしら	旭川市立旭川小学校	6年	南 愛子
22	友達とプールに入ってパンダさんくつきり見える水着のあとも	旭川市立北鎮小学校	4年	甲斐菜都美
23	暑い日もあせにまみれてボールおう目指せゴールはすぐ目の前だ	岩内町立岩内西小学校	4年	山田 響仁
24	こうえんでげんきにあそぶこどもたちげんきにあそびがしむまで	岩見沢市立第一小学校	4年	北原 未空
25	青空に手をひろげるとよい気持ち天気によって心もかわる	岩見沢市立第一小学校	4年	館ヶ澤日菜
26	夏休みかぞくと海へたのしいな口ウソク岩もたのしんでるね	岩見沢市立第一小学校	4年	福井 慧
27	秋が来て落ち葉ぱらぱらふってくる落ち葉をふめばシャカシャカなった	岩見沢市立第一小学校	4年	三好 春瑠
28	弟の今のほほは大福で小さきころはマシュマロみたい	江別市立いずみ野小学校	4年	名和ひより
29	おかあさんソファで食べるおせんべいバリバリよこでおいしそうな音	札幌市立厚別北小学校	4年	矢谷いぶき
30	油断した!!絶対勝てると手をぬいてはっと気づけばもう土俵ぎわ	札幌市立開成小学校	6年	鈴木一二三
31	すいかわりなみうちぎわでわっている海の中から魚がみえた	札幌市立幌北小学校	4年	工 陽兎
32	墓参り親戚みんなで手を合わせ心をこめておかえりなさい	札幌市立幌北小学校	4年	西川明日菜
33	くっちゃんのおばあちゃんとパンづくりカリカリできたハフハフおいしい	札幌市立幌北小学校	4年	本間 美桜
34	キャンプでねトンボが出てきてごあいさつ夕日に光る命の光	札幌市立駒岡小学校	5年	當麻公生凧
35	桜の木風にふかれてまい上がるきれいな空にもいろいろのはし	札幌市立札幌苗北小学校	6年	工藤凜汰郎
36	夏の夜風鈴りと音が鳴り心安らぎ大きなあくび	札幌市立札幌苗北小学校	6年	佐藤 大地
37	日のがぼるあさだあさだとよびかける小鳥の声でまぶたがひらく	札幌市立札幌苗北小学校	6年	藤田涼乃介
38	ラフティング川に飛び込むスリルさと遠くに見える羊蹄山よ	札幌市立札幌苗北小学校	6年	渡部 蓮
39	絶望だ毛虫がぞろぞろではじめたこれでは外に出られないよう	札幌市立篠路西小学校	6年	横山 修哉
40	楽しみはトロンボーンのジャズを弾く少しせのびしくすぐったい時	札幌市立手稲中央小学校	6年	鈴木 雛乃
41	朝起きて目を覚まして二度寝するずっと眠れる休みの楽しみ	札幌市立手稲鉄北小学校	6年	滝沢 颯太

42	かくざとうひさしぶりだなまた会えたおまえはあまいでも人気者	札幌市立東園小学校	4年	小山田大輝
43	夏休みおばあちゃんちで野菜とりトマトが甘くておいしかったよ	札幌市立東園小学校	4年	中川 春乃
44	キャンプでねみんなで作ったまくらなげ大はしゃぎしてぐうぐうぐう	札幌市立東園小学校	4年	吉田 弥優
45	妹がマイク代わりにせんぷうき片手に持って歌い始める	札幌市立屯田南小学校	5年	伊藤 咲
46	タピオカが細い通路を通ってる飲むな飲むなとにげまわってる	札幌市立屯田南小学校	5年	久保 裕汰
47	まどうつる川山畑次々と初めての汽車十勝へと	札幌市立屯田南小学校	5年	長野 夏帆
48	水しぶき照らす太陽湖の風漁船体験夏の思い出	札幌市立屯田南小学校	5年	西岡 葵衣
49	バットふりほけつのぼくがホームラン負けた試合でひとりよるこぶ	札幌市立平岡中央小学校	4年	佐藤壱之介
50	音だけをたよりに聞いて考えるうかんでくるよラジオの世界	札幌市立伏見小学校	4年	小仲 陸王
51	本開き知らない場所にいざなわれどこだどこだと自分探して	札幌市立前田小学校	6年	苔米地彩巴
52	本たちの視線がつこの場所で静けさのなかやすらぎのとき	札幌市立前田小学校	6年	古畑 日葵
53	雪つもる手稲山には電波塔今でも人の心飛ばして	札幌市立前田小学校	6年	宮田 太郎
54	熱気球うかが前から楽しみだ空高く見るニセコの景色	札幌市立緑丘小学校	5年	石黒 馨
55	JR大きな車両長い列空から見ると走るポッキー	札幌市立山鼻小学校	4年	矢花 優
56	そまりゆく秋の夕暮れふりむけば一枚もみじがちってゆくなり	標茶町立沼幌小学校	4年	大倉 陽菜
57	見上げれば空に光るよお月様家族と見ればえがおも光る	苫小牧市立豊川小学校	5年	橋本 拓斗
58	せんぷうき風の前であいうえおかえるのようにひびくこの声	苫小牧市立豊川小学校	5年	福士 颯大
59	宇宙はね一兆度の火の玉が大爆発してたんじょうだ	新冠町立朝日小学校	4年	鎌田 璃久
60	キャンプ場輝く夜景は美しい朝の雲海また来年ね	函館市立中部小学校	6年	岡田 環
61	帰り道雪虫見つけ冬近いだんだん増える長そでの数	函館市立中部小学校	6年	盛田向日葵
62	秋の日にいちょうを上を上げてみるきらきら光る金色せんす	北斗市立沖川小学校	4年	赤前 咲斗
63	木の中をさまよいつづくきつつきが木をつついてるこんこんこんこ	北海道教育大学附属札幌小学校	4年	宇野 綺華
64	秋が来て秋風ふいておちばちりまたまたふいておちばのダンス	北海道教育大学附属札幌小学校	4年	葛西 昂
65	キラキラの湖で泳ぐ白鳥がはばたくしゅんかん羽もキラキラ	北海道教育大学附属札幌小学校	4年	北村 花
66	春の風木のえだゆらすサラサラとおちてく葉っぱひらりひらりと	北海道教育大学附属函館小学校	4年	田中 彩花
67	がけの上夜空見上げてながれ星きえちゃう前にねがいを言うぞ	北海道教育大学附属函館小学校	4年	富樫日菜子
68	夕日見る車の中の私たちオレンジ色のおけしょうみたい	北海道教育大学附属函館小学校	4年	山崎 六花
69	群青の利尻の島の今日の空宇宙がすけて見えている	利尻富士町立鴛泊小学校	6年	西島 一樹

中学生の部

70	コーヒーに砂糖を入れて飲む私中途半端な大人のなりかけ	旭川市立東陽中学校	2年	狩集 結衣
71	秋の日に紅葉いっぱい照らされて色とりどりの野山の錦	旭川市立緑が丘中学校	2年	打田 翔恭
72	「塾やめる」あわててそらす我が目にはぼやけて見える一次関数	旭川市立緑が丘中学校	2年	木下 遥稀
73	秋の朝木々を粧うさむい霧空がはき出す白吐息かな	旭川市立緑が丘中学校	2年	田中 璃子
74	母の手を真似て作ったおにぎりも愛が足りない何かがちがう	旭川市立緑が丘中学校	2年	山口 雄也
75	夕暮れの真っ赤な空に赤とんぼ俺も飛びたい空より高く	旭川市立緑が丘中学校	2年	米澤 友
76	大切と気付くのきつと過ぎてから今はいつかの大切な時	網走市立第三中学校	2年	平山 夕
77	いそがしい母が買ってきてくれたのは太陽のようなパイナップル	石狩市立樽川中学校	2年	平賀 斗偉
78	昨日より暗く感じる帰り道木々は色めき秋風羽織る	石狩市立樽川中学校	3年	浪岡 蓮
79	子どもへのひどい仕打ちはやめないか親のその手で未来が変わる	岩見沢市立豊中学校	2年	幸田 祥悟
80	いつまでも泣きごとと言わず笑顔だけずっとヒーロー私の母は	岩見沢市立豊中学校	2年	笹島 花心
81	五年前二人で上がった屋根の上忘れられないあの浮遊感	北広島市立広葉中学校	2年	多田 愛子
82	くつぞこの減ってく分だけ増えていく私の中の勝ちへの執念	北見市立小泉中学校	2年	鈴木 一希
83	うそつくな右手に持ってるそのフォーク絶対食べたな私のケーキ	清里町立清里中学校	2年	阿部 紗己
84	夏の虫恋を求めて鳴いている僕もひっそり鳴き求めている	清里町立清里中学校	2年	大槻 琉
85	何時死ぬか分からぬ中でも芋虫はただがむしゃらに葉を貪る	清里町立清里中学校	2年	藤原 登太
86	ドンドンと近づいてくる足音がなまはげが来る恐怖とともに	札幌市立青葉中学校	3年	駒林くるみ

87	バスケット足首ひねって松葉杖ころにしみたひとのやさしさ	札幌市立柏中学校	2年	堀岡 翔真
88	帯締めて慣れない下駄で歩く夜パッと輝く夏のお花見	札幌市立礼苗中学校	2年	能登屋愛依
89	瓶の中で光を浴びたい一人ぼっちのわたしは声のないメロディ	札幌市立信濃中学校	3年	北川 結菜
90	最大の睡魔と戦う四時間目まぶた落ちれば落ちる成績	札幌市立平岸中学校	2年	東 来希
91	はけを持ち絵の具に汚れ笑い合う声が響いて夕日の校舎	札幌市立平岸中学校	2年	津本 南美
92	雨やんでしたたりきらぬ軒の雫晴れた空気は葉を踊らせて	札幌市立平岸中学校	2年	戸尾壮太郎
93	新しいノートでうれしいページいつもより少し字が美しい	札幌市立平岸中学校	2年	森田 和子
94	風が吹くひらりひらりと舞っていきあなたに一つ思い残して	札幌市立前田北中学校	2年	橋本 栞夏
95	炎天下自転車をごく下り道前髪なびき身体は冷える	札幌市立真駒内中学校	2年	阿部日向子
96	おし入れに入学当初の自分の絵青い太陽割れたクレヨン	札幌市立宮の丘中学校	2年	辻本 璃緒
97	窓の外白くひとすじ夏の空ためいき一つ眼下の白紙	札幌市立明園中学校	2年	大西福多葉
98	冬の夜空にげているオリオンよまたやって来る鬼のサソリが	伊達市立光陵中学校	2年	平原 寧々
99	縁側でサイダー片手に座ってる僕と君との夏の思い出	伊達市立光陵中学校	2年	柳瀬 心
100	りんご飴見るたび君を思い出す一人で乗った帰りの電車	当別町立西当別中学校	2年	釣井 めぐ
101	今日もまた流れるように過ぎてゆく一度しかない青春の今	当別町立西当別中学校	2年	吉蘭 日和
102	弟と共に話した夜空見てあれはさそり座あれはわし座と	苫小牧市立植苗中学校	2年	中川 敏
103	川海へ送れ送れや霊乗せて水面(みなも)に蓮華灯籠流し	苫小牧市立植苗中学校	3年	樫村 悠汰
104	けんかしてひとり歩いて公園へあとから気づく君への言葉	苫小牧市立青翔中学校	2年	太田 夢華
105	君はいう身長のびたとじまんげになので私はききながした	名寄市立名寄東中学校	2年	笠原 葉月
106	ねがいごとゆれる短冊ささのはに君のとなりで僕も一緒に	名寄市立名寄東中学校	2年	佐藤愛李彩
107	なげられて天井みあげたみ上試合終了こうかい残る	名寄市立名寄東中学校	2年	清水 美音
108	ただいまと言えば返ってくるおかえりに幸せだなと感じる毎日	函館市立亀田中学校	2年	田岸 柚琉
109	細い目とまんまるほっぺで笑う君僕にとっての幸福の種	浜中町立茶内中学校	2年	鈴木 彩芭
110	背比べ少し勝ったと母と笑いだけど変わらぬ大きな存在	藤女子中学校	2年	大西 凜
111	弓にぎりに的に向かいて堂々と無心で放つ矢の音ひびく	藤女子中学校	2年	長崎 逢繪
112	体温で徐々に溶け出すかき氷カップに積もる赤い雪山	富良野市立樹海中学校	2年	高橋 美羽
113	開けたてのビンから溢れる微炭酸透ける青色心泡たつ	北斗市立石別中学校	2年	三上菜々夏
114	風がふく美しい髪ふとゆれてこれが恋のはじまりかな	湧別町立上湧別中学校	2年	平山 唯路
115	被爆者の名簿の中の曾祖父に私は誓う世界の平和	立命館慶祥中学校	2年	小野寺 基
116	「お疲れ」のあなたの声が嬉しくて心が踊る夕焼け小焼け	立命館慶祥中学校	2年	小島なごみ
117	測りたい言葉の深さ物差しで眠れぬ夜に溜息ひとつ	立命館慶祥中学校	2年	横田 心暖
118	男の子必死でたたくその下で必死にたえるもぐらたたき	稚内市立稚内南中学校	2年	岡部 海斗
119	あふれだす空に広がる星たちと仕事帰りの父の背中と	稚内市立稚内南中学校	2年	長谷川茉穂

#### 高校生の部

120	練習着こすってこすって汗が出る母の苦労が分かった気がする	旭川龍谷高等学校	2年	菅 大晟
121	交差点遠目に君を捉えても声にならずに立ち尽くす僕	小樽双葉高等学校	1年	斎藤 蒼空
122	半年の重みを感じるピアス穴昔の友はどこか違って	帯広北高等学校	1年	加藤明貴斗
123	余市まで家族みんなでドライブし帰りの車内はカラオケ大会	帯広北高等学校	1年	高嶋 美久
124	伝えたい感謝のキモチ恥ずかしく胸にひそめる我が両親へ	帯広北高等学校	2年	折笠 聖羅
125	ポタポタと垂れゆく雫ふと見ればそこに映った空の橋	帯広北高等学校	2年	木谷 玲奈
126	バスを待つ君の横顔寂しげに手を振る窓越し胸キュッとする	帯広北高等学校	2年	工藤 恵太
127	いつもの道おなじかえり道そんな道をすこしかえて歩いて帰ろう	帯広北高等学校	2年	島田 天斗
128	うとうとしいいつも心で思っている本当は言いたい「ありがとう」と	帯広北高等学校	2年	前田 美羽
129	久しぶり会った友達全員に言われて気づく学生ニート	帯広北高等学校	3年	佐藤 龍樹
130	最後だねそんな言葉が増える夏思い出奏でる音楽室の夕べ	帯広北高等学校	3年	関塚 幸穂
131	青い空遠くの山に白い雲夏の景色だああ十勝だな	帯広北高等学校	3年	堀田 果林

132	試験前ノートのコピー飛び交わずスマホで写メし難問解決	帯広北高等学校	3年	横澤 蓮
133	初めての矢を射る瞬間ガンッとくる衝撃あって視界が揺れる	千歳市立千歳高等学校	1年	三浦 奏愛
134	夏休み日に日に黒くなっていく我が白肌は今はどこへ	とわの森三愛高等学校	1年	池田 結衣
135	思いきり旅行したいよ遊びたいなのに牛舎つらすぎた夏	とわの森三愛高等学校	1年	林 茉莉花
136	暗い中キレイに輝く月と星その下で過ごす家族との幸せ	とわの森三愛高等学校	1年	林 凜
137	ドヤ顔で枝振りかざし幼子が呪文となえる青空の下(もと)	藤女子高等学校	1年	三宅 茉熙
138	花火みる約束君とかわしたねけれどとなりには君はいない	北海道旭川工業高等学校	1年	喜多 智之
139	青い空日差しの強いベランダで君と過ごした思い出の夏	北海道旭川工業高等学校	1年	林 大耀
140	見上げれば吹き飛ばされる麦わら帽子雲に向かって両手を伸ばす	北海道旭川工業高等学校	3年	金平 崇
141	晴れの日も雨が降る日もそびえ立ち僕らを迎えた山にさよなら	北海道旭川工業高等学校	3年	藤本翔太郎
142	写真撮り自分の世界作り上げ将来かならず作品展を	北海道旭川工業高等学校	3年	山元 純明
143	一人だと手持ち無沙汰だけど今日はあなたといるから来ないで電車	北海道石狩南高等学校	3年	藤本 美羽
144	風が吹き風鈴が鳴るその音で目覚める朝が変わらずに好き	北海道石狩南高等学校	3年	吉田 夕莉
145	墓参り供えたひまわりなつかしい優しい祖父の笑顔重なる	北海道小樽未来創造高等学校	1年	麻績 綺音
146	夕焼けの真っ赤に染めた空の顔街全体を飲み込みそうだ	北海道小樽未来創造高等学校	1年	上林 雅人
147	漣を遠く見つめるその顔の愛しきと脚の虫さされ跡	北海道小樽未来創造高等学校	1年	島木 里菜
148	垣間見る屋台の間に夜の花僕の瞳に手を引く君が	北海道小樽未来創造高等学校	1年	須田和々海
149	たくさんのドカンやチリンが響いてる風の匂いもうすぐ夏だ	北海道小樽未来創造高等学校	1年	田島 咲希
150	夏の海へのぐみみたいに青い海足を入れたら透明の海	北海道小樽未来創造高等学校	1年	本田 絢乃
151	ゆらめいた風鈴の音にさそわれてカラカラ笑うラムネとあなた	北海道小樽未来創造高等学校	1年	棟方 凧紗
152	夏祭りカタカタ響く下駄の音みんなで躍る潮ねりこみ	北海道小樽未来創造高等学校	2年	阿部 優陽
153	しとしとと降りしきる雨聴きながら心静かにページをめくる	北海道小樽未来創造高等学校	2年	中禰 楓太
154	夏の夜僕の心をゆさぶった花火が照らす君の横顔	北海道小樽未来創造高等学校	3年	浦嶋 佑希
155	履歴書はまるで賽の河原のよう滅んでほしい手書きの文化	北海道小樽未来創造高等学校	3年	大崎 壮太
156	一隻の帆船が見える我が故郷悩み打ち消す優しい波音	北海道小樽未来創造高等学校	3年	木川田璃久
157	寄る船に色とりどりの信号旗あなたに伝えるおかえりなさい	北海道小樽未来創造高等学校	3年	工藤 翔叶
158	教室の窓際前から4番目左を向けば空のキャンバス	北海道小樽未来創造高等学校	3年	和田 寛斗
159	「寒いね」と笑う君の手握りしめ「これならどうだ」と僕も笑った	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	2年	藤原 朔夜
160	幣舞橋視線集める水平線夕日をうつす黄金の川	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	3年	臼木麻佑子
161	視野広げちっぽけな自身にしみて道決めてゆく十七の心	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	3年	山崎 心羽
162	ラベンダーの大海にてゆうくりと揺れる二つの麦藁帽よ	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	4年	五十嵐巧真
163	生きているどこを歩くか分からずに泥にまみれてそれでも生きる	北海道釧路湖陵高等学校(定時制)	4年	舟木 美優
164	夏のター人で自転車はしらせて湿原に響く野鳥の声	北海道釧路商業高等学校	2年	高橋 優香
165	たのしみはタルトにムースにバイキングいろんなスイーツが食べたいです	北海道新篠津高等養護学校	1年	山田 鈴花
166	夜ごはん最近ずっときゅうり漬けそのそしゃく音わが家の風鈴	北海道新篠津高等養護学校	3年	佐藤 紫織
167	風をうけいろあざやかな緑いろそらに雲なしなつの青ぞら	北海道新篠津高等養護学校	3年	橋場 蒼